

島根高P連だより

第64号

2023.7.14

発行
編集

島根県高等学校PTA連合会事務局

松江市黒田町538 TEL/0852-22-8602 FAX/0852-22-8735
E-mail: shimakp@orange.ocn.ne.jp URL: https://shimakp.jp/

高P連
ホームページの
QRコード



益田高校



1年生 地域巡検



商業高校フードグランプリ・アサヒ飲料「カラダにピース賞」



荒島駅 ミニコンサート

情報科学高校



島根県理数科課題研究発表会



遊ぼう学ぼう講座



3年生遠足(ジョイフルパーク)



理数科関東研修



体育祭



地域協働フォーラム 2023 春



地域の大人とトークフォークダンス

平田高校



広島研修旅行(大学訪問)



総探イベント参加

目次

- 2 「コロナ時代から新たな時代への幕開け」
島根県高P連会長 木村 直樹
令和5年度島根県高P連総会開催
- 3 令和5年度総会研修
「若者の消費者トラブルから見た成年年齢引き下げ」
令和7年度中四国高P連島根大会について
- 4 PTA活動紹介 松江農林高校PTA/大東高校PTA
- 5 令和4年度 県教委との意見交換会
令和5年度 人権教育「PTA活動」育成事業～人権教育研修会～
- 6 世界大会出場 会長激励費贈呈
フェンシング部 安来高校/カヌー部 出雲農林高校
- 7 世界大会出場 会長激励費贈呈
カヌー部 島根中央高校/自然科学部 浜田高校

「コロナ時代から新たな時代への幕開け」



島根県高等学校PTA連合会長
(島根県立松江北高等学校PTA会長)

木村 直樹

令和五年度の島根県高等学校PTA連合会会長を務めます木村直樹でございます。平素はPTA活動に多大なご協力を頂き感謝を申し上げます。また微力ではありますが本会活動に尽力いたしますので、改めましてよろしくお願いいたします。

二〇二〇年から始まった「コロナウイルス」の脅威ですが、三年余りの長い年月が過ぎて、二〇二三年五月からは一般の感染症と同じ取り扱いに移行し、世の中にあつた大きな閉塞感も取り払われたような今日であると感じています。高校総体の開催など学校活動も昔のように活発に行われることになると思います。

「コロナ禍を脱しての活発な活動自体は大変喜ばしいことではありますが、今の日本全体にはまだ暗い影がかかっていることも事実です。止まらない物価上昇やウクライナから発する電気料金の高騰などのエネルギー問題など、家庭に直接影響する事象が様々ありますし、各家庭においては置いておけない問題であると思います。これらの問題を脱却するにも相当の時間がかかると思われます。

しかしこの社会情勢と子供たちの高校

生活はなるべく関係性を切っていくべきと考え、健やかな高校生活を過ごせるように、まずは家庭からできることを積み上げていき、それがPTA活動への助けになるような動きになってくれればと思う次第です。

先日私が出席するPTA関係会議の内容を確認しましたが、自分が在学していた大昔から考えると、今は非常にきめ細やかでかつ多岐にわたつての教育が日々考えられ実行に移されています。非常に洗練されていると感じています。しかもPDCAをきちんと活用し、日々改善策も考えられています。現代教育のすばらしさを体感しているところです。

今世の中の変化は速くて激しいです。人類進化を変化と例えた科学者もいますが、この多様な社会への対応は変化を感じ許容することが大事と考えられます。子供たちは自らのエネルギーを以つてそれに対応しています。その背中を支え、そして背中を押すことが出来るのが親でありPTA組織であると思います。すべての子供たちの成功を信じて、その活動を応援するために本会の活動にご理解ご協力をお願いいたします。

令和五年度島根県高等学校PTA連合会総会開催

令和五年度定期総会は六月十日(土)に松江市のサンラポールむらでも、代議員六十名が出席して開催された。

伊藤雅之会長代行は、開会に当たり、県高P連の様々な活動にご協力をいただいていることに感謝の意を表した。その上で、研修等をおして大人がしっかりと学び、それを子供に伝えることの大切さについてお話があった。

また、来賓の島根県教育委員会野津建二教育長からは日頃の教育行政に対する保護者の理解協力に対し謝意が伝えられた。また、今春の県内の大学(島根県立大学と島根大学)への県内高校からの進学者数が前年よりも約一〇〇人増えたことを紹介し、県内の進学先で何を学べるかを知ることの重要性を説かれた。

開会行事の後、研修会を行い、松江ちどり法律事務所の高橋郁哉弁護士より「若者の消費者トラブルから見た成年年齢下げについて」をテーマに講演を聴き、研鑽を深めた。詳細は次ページに掲載する。

研修会の後、議事に入り、伊藤会長代行を議長に選び、第一三三号議案を承認後、第四号議案で左表の通り新役員が決定した。伊藤雅之副会長、青山久美子副会長からそれぞれ退任の挨拶をいただいた後、木村直樹新会長を議長に選任し、第五号議案以下、提案された議案はすべて承認された。

次に提出議案を紹介する。

- 一、令和四年度会務・事業報告
- 二、令和四年度会計決算及び監査報告
- 三、県高P連関係各表彰の被表彰者の決定(報告及び全国高P連表彰等の推薦について)
- 四、令和五年度役員(案)
- 五、令和五年度活動方針(案)
- 六、令和五年度主要行事予定(案)
- 七、令和五年度予算(案)
- 八、令和五年度島根県高P連研修会について
- 九、第67回中国四国地区高等学校PTA連合会大会島根大会について
- 十、報告事項
- 十一、その他

第三号議案について、表彰規定に基づき、次の方々に感謝状と表彰状を贈呈し、永年のご苦労とご功績に対して謝意を表すことになった。そして、代表して伊藤雅之の前副会長にご挨拶をいただいた。

○感謝状と記念品贈呈(敬称略)

中村 学(大田高校)

○表彰状贈呈(敬称略)

大江 将幸(安来高校)

坂本 拓三(松江北高校)

名目良明利(松江商業高校)

青山久美子(皆美が丘女子高校)

伊藤 雅之(出雲農林高校)

渡部 敏郎(大田高校)

増谷 秀之(島根中央高校)

中山 良一(浜田高校)

河野 利文(益田高校)

武岡 伸彦(吉賀高校)

山本 誠(隠岐水産高校)

また、全国高P連会長表彰に次の団体と個人を推薦することとした。

○令和五年度全国高P連会長表彰団体表彰候補

松江市立皆美が丘女子高等学校PTA

島根県立隠岐高等学校PTA

個人表彰候補(敬称略)

中村 学(大田高校)

次に、五年に一度の文部科学大臣表彰のPTA活動振興功労者表彰(個人)に次の二名を推薦することとした。

○令和五年度PTA活動振興功労者表彰個人表彰候補(敬称略)

大屋 光宏(元島根県高等学校PTA連合会会長、第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会実行委員会会長)

勝部 昌幸(前島根県高等学校PTA連合会事務局長)

島根県立松江北高等学校PTA

島根県立松江北高等学校PTA

島根県立松江北高等学校PTA

島根県立松江北高等学校PTA

島根県立松江北高等学校PTA

島根県立松江北高等学校PTA

島根県立松江北高等学校PTA

島根県立松江北高等学校PTA

島根県立松江北高等学校PTA



総会の様子



野津教育長挨拶

令和5年度島根県高等学校PTA連合会役員表

役 員	選出地区等	氏 名	所属高校	所属校校長
会 長	東 部	木村 直樹	松江北	木原 和典
副会長	中 部	小玉ともみ	出雲農林	黒崎 千春
	西 部	森山 康仙	大 田	阿部 志朗
	女性代表	大野貴代美	江津工業	小嶺 和隆
	校長協会	木原 和典	松江北	
評議員	松 江	石倉 昭和	松江南	佐藤 誠
		池尻 由香	松江工業	佐々木雅典
	雲 南	野々村達志	大 東	陶山 裕史
	出 雲	木村喜一郎	平 田	伊藤 康子
	大 田	久保 孝次	邇 摩	渡邊 勝義
	浜 田	江木 勝義	浜田水産	白井 明
監 事	益 田	大谷 孝司	益 田	阿部 敦子
	東 部	野口 英司	松江商業	
	中 部	高橋 伊尚	横 田	
事務局	西 部	流 靖則	江 津	
	事務局長	恩田 佳雄	事務局員	岡本 順子

令和5年度総会研修

「若者の消費者トラブルから見た成年年齢引き下げ」

松江ちどり法律事務所 弁護士 遠藤 郁哉氏

今年の総会時の研修会では、島根県消費とくらしの安全室が行っているプロフェッショナル出前授業講師派遣事業を利用し、松江ちどり法律事務所の遠藤郁哉弁護士に「若者の消費者トラブルから見た成年年齢引き下げ」というテーマでご講演をいただいた。以下は、研修会の要旨である。

一 若者に何がおきているか

最初に若者を巡る様々なトラブルの事例が紹介された。

- ・もつけ話トラブル(副業、情報商材やマルチなど)
- ・美容関連トラブル(エステや美容医療など)
- ・定期購入トラブル(健康食品や化粧品など)
- ・SNSきっかけトラブル(誇大な広告や知り合った相手からの勧誘など)
- ・出会い系トラブル(出会い系サイトやマッチングアプリなど)
- ・マルチ取引

若者は様々なトラブルに巻き込まれており、特に、「金」と「美」のトラブルに要注意だと話された。マルチ取引の深刻な事例では、友人に「海外投資」のもつけ話

を持ちかけられ、「お金がない」と断ろうとしたが、消費者金融でお金を借りて投資すれば利息以上に儲かる、「知人に紹介すればさらに紹介料も入る」などと持ちかけられ契約をすることに。だが、最終的には投資の回収は不可能となり、気づけば知人に対しても加害者となった例も発生している。このようなマルチ取引に関するトラブルが一番多い年代は、千代であり、成年年齢引き下げにより、このトラブルに十八・十九歳が巻き込まれる可能性が高く、注意を要する。

二 成年年齢の引き下げの意味と影響

未成年は法定代理人(親等)の同意のない契約は取消可能である。成年になればひとりで契約ができるが方で取消は不可能となる。今回、成年年齢が引き下げられ、アパートを借りる、スマホを契約する、投資や副業に挑戦する、エステに通ったり美容医療を受ける、借金をしたりローンを組むなど様々な契約を十八歳でできるようになる。一方で、今までのような「未成年者取消権」を失うことになる。この「未成年者取消権」により今まで「後戻りの橋」後から契約をなかったことにできる」と「防波堤」までも悪徳業者からターゲットにされる。

れない」により保護されていた年齢が十七歳に下がることになる。前述の二「若者に何がおきているか」で示した様々なトラブルに遭う年齢が二十歳から十八歳に下がるのだ。

三 子供たちを守るのか？

- ①基礎的な知識を正確に身に付ける。
「契約」「金融」「対処法」の基礎知識を身に付ける。
- ②基礎的な対応力
立ち止まる力、断る力、行動する力(相談する力)を身に付ける。
- ③タイムリーな情報を届くように。

「トラブルに遭わないための力」を十八歳になる前に身につけることが重要であり、子供たちの巣立ちを安心して見送るために、さらなる消費者教育の充実が必要であると訴えて遠藤弁護士は講演を終えられた。



研修会の様子

令和7年度第67回中国四国地区高等学校PTA連合会大会 島根大会について

令和7年度の中・四国高P連大会は島根県で開催されます。総会で期日と会場等、以下の内容が承認されました。

①期日 令和七年七月十日(金)

②会場 くびきメッセ

③組織体制等について

○令和5年度に準備委員会、令和6年度に実行委員会を設置し、準備に当たる。

・第一回準備委員会 令和五年八月五日(土)

・第二回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第三回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第四回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第五回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第六回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第七回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第八回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第九回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第十回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第十一回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第十二回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第十三回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第十四回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第十五回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第十六回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第十七回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第十八回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第十九回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第二十回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第二十一回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第二十二回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第二十三回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第二十四回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第二十五回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第二十六回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第二十七回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第二十八回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第二十九回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第三十回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第三十一回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第三十二回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第三十三回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第三十四回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第三十五回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第三十六回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第三十七回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第三十八回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第三十九回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

・第四十回準備委員会 令和五年十二月十六日(土)

今後の中・四国高P連大会と全国大会の開催予定

○中・四国高P連大会

・第65回中・四国高P連大会 岡山大会

令和五年七月十四日(金)

開催場所 倉敷市民会館

テーマ 集まればこころはれば晴れの国

「集まれ」の「話す」の大切さ再発見

・第66回中・四国高P連大会 高知大会

令和六年七月十一日(金)

開催場所 高知県高知市

・第67回中・四国高P連大会 島根大会

令和七年七月十日(金)

・第68回中・四国高P連大会 香川大会

令和八年七月

○全国高P連大会

・第72回全国高P連大会 宮城大会

令和八年八月二十四日(木)二十五日(金)

開催場所 宮城県仙台市青葉区アリーナ仙台他

大会テーマ 「豊かな心でつむぐ虹の光」

「しなやかな強さで生き抜く力」

・第73回全国高P連大会 茨城大会

令和六年八月二十一日(木)二十二日(金)

開催場所 茨城県水戸市他

・第74回全国高P連大会 三重大会

令和七年八月

・第75回全国高P連大会 大分大会

令和八年八月

PTA活動紹介

松江農林高等学校PTA活動

島根県立松江農林高等学校 PTA会長

曳野 貴志

松江農林高校は、明治三十三年（一九〇〇年）に創立された一二〇年の歴史をもつ高校です。これまでの約二万人を超える卒業生は、地元のみならず、日本の産業界の各方面において活躍しています。

本校は、三つの科から構成され、生物生産科では、草花・野菜・植物バイオテクノロジー・作物の四コース、環境土木科では、土木・造園の二コース、総合学科では、食品・福祉・地域の三系列を有しています。各領域においては、専門の実習施設や実験室を整えており、教室での授業の他に、実習や作業、実験を通して実践的な学びを行っています。また、本校のグランドデザインにも記してありますように、高大連携学習や地域連携学習にも積極的に取り組んでおり、地域からも高い評価を頂いております。

PTAとしては、会議、収穫祭での講演の実施、出店を主な活動としています。まず会議の構成として、正副会長会、理事会、PTA総会を設定しています。本年度のPTA総会では、活動報告・会計報告・本年度事業計画・予算の確定などの通常の議題のほか、規約の改定も行いました。

昨年度の収穫祭では、「PTA活動の日」として、株式会社山武師代表取締役の森谷隼斗氏による「カッコイイ職業選択のススメ」林業を通して」と題しての講演を

実施しました。また、並行して初日、二日目にはわたり、焼鳥うどん・炊き込みご飯などの販売を行いました。

収穫祭が一般公開で開催されたのは三年以上ぶりです。天気は雨模様でしたが、三、五〇〇人以上の来場者を迎えることになりました。PTAの出店も含む模擬店エリアが設けられ、学校関連の農作物や花卉、加工品などが販売されました。壇上では音楽やダンス、演劇などの生徒たちによるパフォーマンスや発表会も行われ、生徒の才能や想像力が発揮される場となりました。

昨年度まで、コロナ感染拡大防止のため、ガイドラインの遵守など、活動しにくい状況が続きました。今年度は「コロナから類感染症に移行したことにより、PTA活動は以前のように実施しやすい状況に戻りました。PTA活動が、生徒とともに行う活動になったり、生徒を支える活動になっていくことを願っております。



収穫祭



PTA総会

PTA活動紹介

大東高等学校PTA活動

島根県立大東高等学校 PTA会長

野々村 達志

島根県立大東高等学校は、大正八年（一九一九年）に雲南地域唯一の中等教育の場として創立されて以来、県立大東高等実業女学校、大東高等女学校への変遷を経て、昭和二十三年（一九四八年）に現在の校名となり、今年で百五年目を迎える歴史と伝統のある学校です。

学校が所在する島根県雲南市は、令和四年（二〇二二年）に宝島社が発表した「住みたい田舎」ベストランキングで、若者世代・単身者と子育て世代の二部門で全国一位を獲得した人口三六万人ほどの街ですが、豊かな自然とアクセスのしやすさ、そして市を挙げた子育て支援と移住支援制度で移住検討者から大きな注目を集めています。

また「チャレンジの連鎖」を地域創生のテーマとして掲げ、子ども・若者・大人・企業を問わず「チャレンジ」を連鎖させることで、



2年生の総合的な探究の時間



1年生の総合的な探究の時間



スペシャルチャレンジJr.プログラム

いきいきと暮らせる魅力あるまちづくりに雲南市は挑戦しており、学校内では地域の人と共に活動する「雲南式探究」、放課後に挑戦できる「スペシャルチャレンジJr.プログラム」や多彩な部活動など、雲南の魅力ある人々と出会い活動し、自分の可能性を伸ばす環境があります。

大東高校PTAは昭和二十四年度に発足しました。現在、執行機関としての運営委員会（会長・副会長・七支部の支部長・学校事務局により構成）、決議機関である代議員会（事業計画・予算・決算など主な議案を審議・決議をする）、そして総務・育成・研修・広報の四つの委員会が学園祭における模擬店の出店や広報誌の発行等さまざまな行事を企画するなど、活発に活動しています。

今後、大東高校PTAとしては、大東高校がグランドデザインで示す「めざす生徒像」、一・人となることが出来る【人間力】

【学力】

三、自分と地域の未来を、つむぐことができる【社会力】

を、生徒の皆さん一人ひとりが、ここ大東高校で身につけることができるよう、大東高校が推進する教育活動に協力して参ります。

令和四年度 県教委との意見交換会

令和五年一月十二日(木)に中村学会長以下五名の役員が教育庁で県教委の野津建一教育長以下十名の職員と意見交換を行った。以下は、高 P 連役員の質問や意見に対する県教委の回答・意見等をまとめたものである。

①「教育のICT化の現状と展望について」

島根県の公立高校では平成三十年度にすべての普通教室にWi-Fiやプロジェクター、スクリーン等のICT機器が整備され、その後、寄宿舎にもWi-Fiが整備された。令和四年度入学生から一人一台のPC端末が保護者負担で配付され、ICTによる授業が本格的に始まっている。

教育のICT化を進める上で欠かせないのが教員のスキル向上である。県教委ではヘルプデスクに加え「ギガスクール支援センター」にICT支援員を八名配置し、学校に向いて助言を行っている。また、各学校では「情報化教育推進担当教員」を専任し、オンラインで情報交換や研修会を行っている。また、県内三つの高校を指定し、そこで得られた知見を県内の学校に広めている。

意見交換会に入る前に視聴した「島根におけるICT活用教育PR動画」は、ICTを使った授業を動画にまとめ、モデル授業として広めているものである。数学の授業でICTを活用すると授業の進度が速くなり、個人のペースで理解が進む。例えば、五十分での到達点に二十分まで到達する生徒もいれば四十分かかる生徒もいるが、早めに到達した生徒はその先の課題に自分で取り組みることができる。学内内容が変わらないが、ICTにより学び方が変わり速度も速くなる。すると時間が生まれ、その時間で学んだことを言葉にして、隣の人と対話を行ってみることで理解が深まる。今後、生徒がICT機器を活用し、課題解決型学習や新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」を進めていくことが期待できる。

②「特別教室のエアコン設置について」

普通教室のエアコンはかつて公費負担と保護者負担のエアコンが混在していたが、PTAから県に寄付が行われ、普通教室は令和元年に一〇〇％設置されている。特別教室については「県立学校エアコン設置方針」に基づいて必要性の高いところからエアコンの設置を進めており、約半数が設置済みである。限られた予算ではあるが、優先度の高い教室を計画的に整備していく。

③「インターハイ、国スポ・全スポについて」

令和七年に中国フロッグでインターハイが開催され、島根県では六競技(体操競技(浜田市)、バレーボール(男子)(安来市)、レスリング(雲南市)、フエッティング(安来市)、なぎなた(出雲市)、

カヌー(美郷町)が開催される。なお、総合開会式は広島県で開催される。令和六年度にそれぞれの開催市町に実行委員会が設立される。令和五年度から「強化指定校」を指定し、県内開催競技の六競技については「特別強化指定校」として遠征費の補助等や推薦入試を実施している。県外開催競技は「一般強化指定校」として遠征費の補助等を行う。また、高校生による「高校生活動」を行い、大会PRや補助役員等を行い、大会を盛り上げる予定である。

令和十二年に島根県国民スポーツ大会(国スポ)と全国障害者スポーツ大会(全スポ)が開催され、すでに県内三十五競技の開催地やマスコットキャラクターも決定されている。国スポについては天皇杯、皇后杯獲得を目指して選手強化に力を入れたい。

④「十八歳成人への対応について」

令和四年四月より成人年齢が二十歳から十八歳へ引き下げられ、十八歳で一人でも契約できる年齢と保護者の親権に服さなくなる年齢となった。悪質商法を含めた消費者トラブルなど、深刻な被害に遭うリスクが高まることも保護者は心配している。

高校では高校一年次に公民や家庭科の授業の中で、消費者教育や消費生活について学んでいる。また、県環境生活部暮らしの安全と連携して、令和二年度から「消費者教育外部人材活用講師派遣事業(フロンティナル出前授業)」を展開しており、要望に応じて出前授業を行っている。学校での授業だけでなく、PTAや教員の研修会へも専門家を派遣しているので、利用して欲しい。各家庭では子供の通信販売の額が大きくなっているが、高額請求がないか等を確認してみるとよい。契約等で困ったときは「消費者ホットライン188(いやや)」で相談できる。

⑤「ヤングケアラーについて」

令和元年度に行われた「島根県子供の生活に関する実態調査」によると、家での役割(家事や兄弟・姉妹の世話、家族の介護など)をほとんど毎日、あるいは週二・三日担っているという児童・生徒の割合は、高校二年生で二五・五％という結果であった。自分自身が「家族をケアさせられている」と思っているのか、「ケアすることは当然のこと」と思っているのか、子供によって受け取り方は様々であると考えられるが、ヤングケアラーに該当する児童・生徒は多数存在するという認識を持っており、子供の学びが阻害されていることが早期に必要な支援につなげていくことが必要だ。学校だけでは対応が不十分な部分については社会福祉との連携も必要である。県の健康福祉部だけではなく、市町村との連携も必要になっており、どういった連携をとるのがいいのか考えながら進めていきたい。



意見交換会の様子

令和五年度人権教育「PTA活動」育成事業～人権教育研修会～

令和五年五月九日(火)に松江合同庁舎において令和五年度人権教育「PTA活動」育成事業人権教育研修会が開催された。この事業は、島根県教育委員会が県内の幼稚園・こども園、小・中学校、高校、特別支援学校のPTAから単位PTAをモデル指定し、PTA会員一人一人が様々な人権問題に対する正しい理解や認識を深めるとともに、学校や家庭、地域が連携・協働して人権教育のより効果的な推進を図る目的で毎年行われている。当連合会からは、令和五・六年度指定PTAである浜田商業高校PTAと高P連がこの事業の事務を担当する宍道高校PTAに参加希望のあった単位PTAから合計十名が参加した。

人権教育研修会ではまず、「PTAで人権教育をどう進めるか」をテーマに、指定PTAの松江市立たまゆ幼稚園PTAと雲南市立加茂中学校PTAの各担当者が実践発表があった。

続いて、島根県人権啓発推進センター啓発指導講師の藤原尚幸さんによる「子どもの権利と自己肯定感」と題した講義があった。概要は次のとおり。

○子どもの人権侵害とレジリエンスについて

子どもの人権侵害(いじめ、虐待、体罰など)は大人になつてからの「不適応」や様々な人格障害の原因にもなりえる。例えば暴言虐待による虐待は聴覚に障害をもたらす、知能や理解力への悪影響をもたらす。また、DVを目撃して育った子どもは、視覚野が平均十六％減少し、知的能力、記憶力、学業成績が低下する可能性がある。このように虐待は脳にダメージを与え、脳の傷は、適切な会話、刺激、ストレスを与えないことで、攻撃的にならずに情緒的に安定していき、他人に同情共感する社会的な能力も備わる。

レジリエンスとは、自己に不利な状況やストレスを受ける状況において「精神的回復力」「抵抗力」「復元力」という意味である。ゴムボールは叩きつけられも元に戻る。このような「回復力」を強く、折れない心をつくるためには「自己肯定感」を高めることが大事だと言われている。

「自己肯定感」は自分自身の存在はかけがえのない大切なもの、「自分は愛されている」「長所も短所も含めてありのままの自分でいいんだ」という意識である。この「自己肯定感」が上がることで物事を前向きに解釈し積極的に行動する。他人の言葉に気持ちを左右されない、目の前のことに集中する、できないことよりもできることに目を向けるなどのプラスの特徴が現れる。下がる過去の失敗にこだわったりトラウマにとらわれたり、他人との比較や劣等感を感じる。自己肯定感、上がったりがつたりするが、絶対的な自己肯定感がある人は「回復力」があり、「心が折れる」状況であっても立ち直ることができる言われている。

内閣府の「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」では、「自分には長所がある」「自分自身に満足している」等の質問項目に対して日本の若者は諸外国に比べて肯定的な回答が低い結果が出ている。

親のかかりから「自己肯定感」を高めるためには、「どうせ……」「いつもおまえは……」「○○さんはずいぶんね。でもあなたはできないの」「もっとはやくできないの」など否定語を使わずに「大丈夫だよ」「大好きだよ」「心配ないよ」など肯定語を使うと子どもは「認められているんだ」と安心する。

子どもの権利条約の基礎を作ったボーランドの「ルチャック」は「子育てについて、どうしたらうまくいくか」を問われたとき、「あなたの子供を知らないから、知らない」と答えている。「子どもと向き合う」「子どもの様子を見る」と、そして、「子どもと親は別々の命で別々の人生を歩むのだから子どもを人間として尊重すること」が、一番大切な「子どもはだんだんと人間になるのではなく、すでに人間である」と説いており、この「ルチャック」の考え方に私たちが学ぶことも多い。



研修会の様子

フェンシングジュニアワールドカップ・セルビア大会2023出場

会長激励費贈呈

島根県立安来高等学校 フェンシング部 遠藤 駿斗さん

県高P連では、当連合会に所属する高校の生徒やその生徒を指導する学校の指導者がスポーツ競技会やコンテスト・審査会等の世界大会に日本を代表して出場する場合に、その栄誉を称え、健闘を期待して会長激励費を贈呈することになっている。令和五年二月にセルビアのウルシャツで開催されたフェンシングジュニアワールドカップ・セルビア大会2023に日本代表として出場した安来高校フェンシング部遠藤駿斗さんに令和五年二月六日に安来高校校長室で坂本拓三高P連副会長が激励費を贈呈した。

○出場種目と結果

男子エペ 一四〇人中一一六位

今後の世界大会に向けて遠藤選手の活躍に期待したい。遠藤選手には、後述のようにセルビア遠征時の手記を書いてもらった。競技会出場だけでなく、若い時代に世界の街を知り、新たな夢を描くことは大切なことである。県高P連としては、今後もそんな生徒を応援したい。

フェンシングジュニアワールドカップ・セルビア大会2023に出場して

島根県立安来高等学校 遠藤 駿斗

私は二月八日、フェンシングジュニアワールドカップ・セルビア大会に出場しました。これは国際フェンシング連盟が公認するフェンシングのタイトルで、各国の二十歳以下の代表選手が集まります。ワールドカップセルビア大会には、昨年の世界選手権十七歳以下で優勝した選手や、二十歳以下の世界ランキング上位の選手も出場しており、同じ年代のトップレベルの選手と剣を交えることができました。

今回初めて日本代表として選出され、人生で初めて海外に行き試合をしました。フェンシングで日本代表になることを目標として今まで活動してきたやっとの思いでつかんだ夢の舞台でした。大会前にはたくさんの方から応援していただき、自分の住む地域の温かさを知り、自分に関わってくれた全ての方に

改めて感謝することができました。

経験したことのない十五時間という長時間のフライトで、車での移動を経て現地に到着しました。聞いたことのない言語が飛び交い、日本と違う空気と建物を見て外国にきたことを実感しました。セルビアでは日本と比べ物価が安く、またご飯もとてもおいしかったです。外国の料理の味を忘れないように味わって食べました。試合前日、大会会場での練習を予定していましたが、会場に入ることができず近くの陸上競技用のグラウンドでフェンシングの動きの確認をしました。スリーカーを履いてフェンシングをするのは初めての経験でしたが、私たち選手のために懸命に体を動かす時間を作ってくれたコーチに感謝しています。結果は一四〇人中一一六位で目標としていたベスト8には遠く及びませんでした。予選を突破することすらできず悔しい気持ちでいっぱいでした。しかし自分の武器であるスピードは海外でも通用することがわかりました。課題は山積みですが日本で下位から這い上がったように、国際大会でも少しずつ上位に向かって努力していきたいです。そのためまずはコーチからいただいたアドバイスを基に練習を重ね、精神的にも肉体的にも強くなってまた国際大会の舞台に戻りたいと思います。



試合中の遠藤選手



セルビアの国旗と街なみ



贈呈式

2023 アジアパシフィック

カヌースプリント大会出場 会長激励費贈呈

島根県立出雲農林高等学校 カヌー部 舞さん 多々納 真桜さん

ニュージーランドのケンブリッジ・カレッジ湖で開催された2023アジアパシフィックカヌースプリント大会に、日本代表として出場した出雲農林高校カヌー部の廣戸舞さん、多々納真桜さんと指導者の大畑篤郎先生に四月十二日（水）出雲農林高校校長室で伊藤雅之高P連副会長が激励費を贈呈した。出場種目と結果は次のとおり。

○出場種目と結果

廣戸 舞さん

U18女子カヤックフォア200m 準優勝

多々納 真桜さん

U16女子カヤックフォア500m 準優勝

U16女子カヤックフォア200m 準優勝

廣戸選手と多々納選手には、左記のようにニュージーランド遠征時の手記を書いてもらった。

アジアパシフィック スプリントカップに参加して

島根県立出雲農林高等学校 カヌー部

三年 廣戸 舞

今大会は、私にとって二回目の国際大会となりました。前回のアジアパシフィックは、先輩のおかげで四人乗りの員として参加した大会でした。しかし、今回は自分の力で行くことが出来たので嬉しかったです。大会ではシングルやペア、フォア、男女混合の沢山のレースに出させてもらいました。結果はフォアの200mで銀メダルを獲得することができました。全部のレースで全力を尽くせたと思います。

この大会で沢山得るものがあり、とてもいい経験ができたと思います。今回日本代表としてニュージーランド遠征に出ることができたのは、周りの人の応援や

親の支えがあったからです。その感謝の気持ちを忘れずにこれからの練習をがんばりたいです。そして、この大会で得た経験を今後のインターハイや国体に活かしていきます。

島根県立出雲農林高等学校 カヌー部

二年 多々納真桜

とても貴重な経験ができた大会でした。私は女子カヤック四人乗りと一人乗りに出場し、四人乗りの200mと500mで二位を取ることができました。初めてのメダルでとてもうれしかったです。この大会でメダルを取った時が二番カヌーをやった良かったと思える瞬間でした。まだ、カヌー経験が浅く、一緒に乗る選手に迷惑をかけてしまいましたが、皆さん優しく支えてくださって楽しく試合に臨むことができました。

海外の方との交流会でも貴重なとても楽しい時間を過ごすことができました。これから、インターハイや国体などの国内大会がたくさんあります。今回のニュージーランドでの経験を活かして頑張っていきたいです。



レース中の廣戸選手（中央）



大会会場での廣戸選手（左）と多々納選手



贈呈式

2023 アジアパシフィック カヌースプリント大会出場 会長激励費贈呈

島根県立島根中央高等学校 カヌー部 松本貢輝ブライアンさん

ニュージーランドのケンブリッジ・カレッジ・ロホで開催された2023アジアパシフィックカヌースプリント大会に、日本代表として出場した島根中央高校カヌー部の松本貢輝ブライアンさんに五月十一日、島根中央高校校長室で中村学高P連会会長が激励費を贈呈した。出場種目と結果は次のとおり。

○結果

・カヤックシングル500m	14位
・カヤックシングル200m	16位
・カヤックペア200m	9位
・カヤックフォア500m	5位
・カヤックフォア ミックス男女混合200m	8位
・カヤックミックス男女混合リレー200m	4位

松本選手には、左記のようにニュージーランド遠征時の手記を書いてもらった。

「初めての国際大会に参加して」

島根県立島根中央高等学校 カヌー部
三年 松本貢輝ブライアン

私は、初めての国際大会を経験して様々なことを感じることができました。また、カヌーを始めたときからの目標であった『日本代表』として世界の選手達と競い合うことができて本当に嬉しかったです。

私は、東京の中学校で三年間、陸上競技部に所属して長距離を専門に励んでいました。この自慢の体力をカヌー競技で活かすことができないかと思い、島根中央高校カヌー部に入ることを決めました。この選択は、アジアパシフィック大会に参加できた事で、自分にとって最高の選択であったと思っています。本当にカヌー競技をして良かったです。

会場に入り、艇の調整をし、チームボートの練習を主に

行いました。大きなサイズの艇が多く、また、日本チームとはいえ他校の選手達と短い時間での調整には苦労しましたが、気持ちをあわせ、サポートしてくれたコーチの方々の力も借り、なんとか大会を乗り切ることができました。目標にしていた、メダル獲得はなりませんでしたが、世界の選手達の体格は勿論、技術力(スタートダッシュ、ストロークの強さ、連動)などを肌で感じる事ができたことは、これからカヌーを続けていく上で貴重な経験となりました。また、国際交流もたくさんありました。英語の大切さにも気づきました。海外の強い選手はとても紳士で格好良いなと思いました。私も強くて格好良い選手になりたいと思いました。

今年、島根中央高校は、競

技力が高く後輩からの追いつけも激しく、毎日の練習が大会のような厳しさです。私が日本代表として世界に挑戦できたのは、このような環境で練習ができていたからだと思っています。このような環境を当たり前と思わずに感謝をしてこれからも頑張りたいと思います。沢山の応援をして頂き本当に有難うございました。この経験をこれから的人生に活かしていきたいと思っています。



カヤックフォア500m決勝



松本貢輝ブライアン選手



贈呈式

リジエネロン国際学生科学技術フェア2023(ISEF)出場 会長激励費贈呈

島根県立浜田高等学校 自然科学部
坂手 遥さん 渉 結名さん 横山 麗乃さん

高校生・高専生が自由研究の成果を競う「コンテスト」JSECON(第二十二回高校生・高専生科学チャレンジ)の最終審査会が昨年十一月に東京・お台場の日本科学未来館で開催され、浜田高校の自然科学部が「植物乳液の防虫効果と利用法」で見事「花王賞」を受賞した。(研究の詳細は令和5年3月16日発行の高P連だより号外に掲載。島根高P連のHPから読むことができます。)

この受賞により自然科学部坂手遥さん、横山麗乃さん、渉結名さんは令和五年五月十三日〜十九日にアメリカ合衆国テキサス州ダラスで開催されるリジエネロン国際学生科学技術フェア2023(ISEF2023)に参加することが決まり、二月八日(水)に浜田高校校長室で中村学高P連会会長が激励費を贈呈した。

この度、三人は帰国し、渉結名さんと横山麗乃さんにその大会参加の感想を左記のように書いてもらった。

RegeneronISEF2023に 参加つゝの感想

島根県立浜田高等学校 三年 渉 結名

ダラスにはアンティークな建物や高層ビルがあり、古いものと新しいものが融合した素敵な街並みが印象的でした。審査会場には世界中の一千を超える様々な研究の展示ブースがあり、会場の広さや大会の規模に驚くばかりでした。大会期間中は世界中の大会出場者と交流する機会が多くあり、さまざまな国の人々と会話できたことはとても刺激的でよい経験になりました。流暢に英語を話せるわけではなかったが、英語の理解や会話には苦労したこともありましたが、世界各国のファイナリストの皆さんとはとても親切に話しかけてくれたり、簡単な日本語を話してくれたりしてうれしかったです。審査のない日は、ポスターの掲示をしたり、英語での発表練習をしたり、ファイナリストの研究発表を聞きに行ったり、日本代表のみんなと博物館に行ったりしました。審査当日は審査員の方々に研究の魅力や私たちの研究に対する熱い思いを伝えることができたと思います。審査員の方々は様々なアドバイスをいただいたのでこれからの活動の参考にしようと思います。また審査員の方々だけでなく、一般の方々にも研究発表をする機会があり、私たちの研究をたくさんの人に伝えるこ

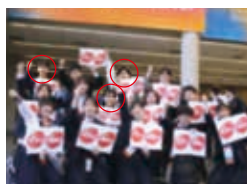
とができたので良かったです。様々な国の方々からのコメントはどれも日本では得られない貴重なものでした。

島根県立浜田高等学校 三年 横山 麗乃

アメリカのダラスで開催されたISEFに、五月十四日から二十一日まで参加してきました。七日間のうち審査と一般公開(一般の人に研究の説明をする)が行われたのは、日間で、残りの五日間は飛行機での移動や街の観光、発表の準備・練習、生徒交流会やセレモニーへの参加などでした。審査と一般公開ではたくさんの人が発表を聞きに来てくれました。英語での受け答えに苦労したこともありましたが、身振り手振りで何とか伝えようと頑張りました。発表が終わって「研究の内容も、あんなたちの情熱もよく伝わったよ」と言ってもらえた時、とても嬉しかったです。とても楽しかったです。他の研究発表も聞きに行きましたが、どれも興味深い内容で刺激をもらいました。生徒交流会やセレモニーでは、世界中の同年代の人とお話をしたり、ご飯を食べたり、ダンスを教えてもらって一緒に踊ったりしました。たくさんさんの友人ができ、今でも毎日連絡を取り合うほど仲良くなりました。今までの人生で最も充実した有意義な週間でした。ISEFに参加したことでおぼろげだった将来の夢が確固としたものになりましたし、高みを目指す世界中の友人に刺激を受けてモチベーション高く勉強ができるようになりました。ISEFに参加するにあたって多くの方々に支えていただきました。本当にありがとうございました。



ダラスの町並み



日本からの参加者
○印 浜田高校の参加者



ISEF会場

島根県高等学校PTA連合会高校生総合保障制度 (こども総合保険)

2023年5月現在の内容です。

高校生の
日常生活を
幅広くサポート



授業中に
メガネを
壊した!



部活で
ケガをした!



大切なお子さまを 1日24時間、補償!

学校でのケガはもちろん、学校が休みの日や部活中・登下校中のケガも補償します。ただし、一部の補償は24時間補償ではありません。

選べる4プラン (2023年度版)

※プランによって補償内容が異なります。総合保障制度の詳細につきましては、配付されたパンフレットをご覧ください。引受保険会社にお問い合わせください。

プラン	年間掛金
Qプラン	18,540円 (1年分の掛金)
Mプラン	12,840円 (1年分の掛金)
Kプラン	8,000円 (1年分の掛金)
Jプラン	6,000円 (1年分の掛金)

取扱代理店・扱者
東部地区、大田、邑智郡、隠岐郡、益田、鹿足郡、江津
(有)メイジ (TEL 0120-001-230)
浜田
(有)コテラ総合保険 (TEL 0855-28-2121)

引受幹事保険会社

AIG損害保険株式会社 山陰支店

松江市伊勢宮町519-1 松江大同生命ビル6F
(受付時間: 午前9:00~午後5:00 土、日、祝日、年末年始を除く)
TEL.0852-26-2781 FAX.0852-26-2776

承認番号:S-230545 有効期限:2024年2月

大阪・京都・神戸方面に進学される
生徒・保護者の皆さんへ

「大阪学生会館入寮生」9月募集開始!!

☆令和5年度 新歓コンパ☆



食堂



大阪府およびその周辺の大学・短大・専門学校等に在学・進学する島根県にゆかりのある人の修学の便を図るため、島根県育英会が大阪府吹田市に学生会館を開館しています。
大阪平野の北部に位置し、静かな住宅街で大阪万博記念公園を望める絶好の環境です。

月額 66,000円(朝夕2食付) ※入寮時に別途、入寮費 150,000円
(最短期間2年(以下は120,000円)が必要です。)

【応募要件】
学校教育法に基づく大学・短期大学・大学院・高等専門学校(4年生以上)・専修学校(専門課程のみ)
(以下「大学等」という。)に在学または進学予定の島根県出身者。ただし、大学等の通信制及び夜間部は除きます。
(進学予定者で、入学が決定しなくても応募は可能です。)*詳しくは島根県育英会のホームページをご確認ください。

【施設概要】
〒565-0812 大阪府吹田市千里丘中58番10号
TEL 06-6877-3058
2003年築/鉄筋コンクリート3階建/個室70室(男女)/全館冷暖房完備/パブリックスペース(食堂/学習室/浴室/談話室/コインシャワー室/洗濯室等)プライベートルーム(個室/洋間6畳/パソコン記録・洗面化粧台・収納棚)

【アクセス】
JR大阪駅(15分)
JR京都駅(25分)
JR神戸駅(50分) → JR千里丘駅 下車徒歩15分



～今春入寮した寮生保護者の声～

「寮は楽しい。入って良かったよ。」と早々に話してくれました。親元を離れての生活の第一歩が学生会館で本当に良かったと思えた瞬間でした。入寮の決め手は同県出身学生寮という事と食事の面での安心感があることでした。寮内は設備も充実しており身の回りの物を揃えるだけで引越しも楽でした。また、館長ご夫妻やスタッフの方がとても優しく嬉しかったです。寮生活を通して交友を深め、団体生活の楽しさ大切さ等沢山学んで欲しいです。それを経験できる場所だと思います。

施設見学・1泊2日体験入寮 実施中!!

部屋を見たり、志望する学校の先輩の話を聞けるチャンス!

お問い合わせ・館内見学・資料請求

(公財)島根県育英会事務局 TEL 0852-28-1981 FAX 0852-26-2089
〒690-0887 松江市殿町8番地3 島根県市町村振興センター3F Email info@shimane-ikuei.or.jp WEBサイト https://www.shimane-ikuei.or.jp/



大阪学生会館HP
https://www.shimane-osakagakuseikaikan.jp/



事務局だより

様々な方の講演を聞いたり、PTAに携わっておられる方々のお話を伺う機会が沢山ありました。その中で、人に何かしてもらった時、「すみません」ではなく「ありがとうございます」と言おうという言葉にはっとしました。とかく私も「すみません」と言う言葉を連呼しますが、自分が人に何かをしてあげた時「ありがとうございます」と言われたほうが、気持ちいいと感じます。申し訳ないという言葉も時としては大切ですが、感謝の言葉を大事にしていけたらいいなと感じました。また、他の研修では、「自己肯定感の高い子供を育てよう」と教わりました。自己肯定感が高いと、物事を前向きに解釈し、積極的に行動でき、人生の軸となるエネルギーになるそうです。自分は親から愛されていると自覚したり、努力を褒められたり、肯定的な言葉をかけられる等で自己肯定感が高まるというお話がありました。日本人は低いそうです。家に帰って一人の子供に聞いたところ、長女は即答で「低い」。次女は「どちらかと言えば高いかな」と返事が返ってきました。あーもっと早く聞いていれば...二十代後半の娘たちですが、今からでも挽回せねばと反省しました。子育てはいつまで続くのかと思いますが、この先ずっと続くのでしうね。まだまだ子育ての勉強中です。一緒に頑張らせてください。

